

セ タガヤ ボ ン ス ネットワーク



SEITAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2020.4 No.192

今月のトピック

特集●

「25 年を明日につなぐ」
～第 33 回神戸をわすれない より～

まちの市民力! ● バージの会

キラリ世田谷人 ● 橋本 陽子さん



イラストレーション●松井 晴美
出版、広告、WEB、展覧会などで活動しています。ドラマ絵描くのが趣味です。今後はグッズや絵本に関わりたいと思っています。
最新の絵は Instagram で。
www.harumimatsui.com

●わたしの世田谷

家族でよく出かけるのは成城学園前と二子玉川です。少しの時間でも、とても満足できる大好きな場所です。

「25 年を明日につなぐ」 ～第 33 回神戸をわすれない より～



25 年前の神戸市長田区 (写真提供/神戸市)

阪神大震災から四半世紀が経ちました。毎年「神戸をわすれない」と思いをいだきつつ、神戸の人びととまちの復興・再生の様子を記録したドキュメンタリー映画の上映を世田谷で続けてきた「神戸をわすれない・せたがや」。

今年 2 月にも、第 33 回となる学びの場を開催しました。神戸の住民たちが地域での集団として、どんなまちをつくりてきたのか、記憶をこれからのもちにつなぎたいと語る「神戸をわすれない・せたがや」からの寄稿です。

「野田北部・人とまちの今」

阪神大震災から 25 年目の今年。「神戸をわすれない・せたがや」は、震災の 1 年後から、最初の数年間は年に 2 ～ 3 回、近年は毎年 1 月に欠かさず世田谷で「神戸をわすれない」という企画を開催してきましたが、今年は一区切りの年でもあります。

震災が起こって 8 日目から、神戸市長田区の野田北部・鷹取地区に定点を据え、まちと人びとの復興と再生の様子をカメラにおさめてきた青池憲司監督とスタッフ組の制作した 14 巻の映像記録を、ずっと世田谷で上映し、神戸の経験を学んできました。また、防災、まちづくりを、多様な視点から、経験者や専門家の方々に語っていただき、世田谷でどう備えるかの学びの場としてきました。

そして昨年の会で青池監督は「25 年目となる 2020 年に迎え

るにあたり、野田北部の映像素材をテキストに、まちづくりとはなんだったのかを批評的・批判的にふりかえりたい」と語りました。その節目の年になり、今年 2 月 8 日に「第 33 回神戸をわすれない」を開催。昨年暮れから今年の 1 月 17 日にかけて、コミュニティ再生を追ったドキュメンタリー映画の続編として青池組が新たに製作した『大震災から 25 年／野田北部・人とまちのいま』(34 分)がお披露目となりました。その様子をお伝えします。

「住民主体」のまちづくり活動

映画の冒頭は神戸市長田区の大園公園での餅つきの風景。「震災の年は 370 キロの餅をついたけれど、今年は 100 キロ。行事を重ねるごとに知り合いが増えていくんですよ」と語るのは高木邦子さん。これまでの映画にも登場してきた「野田北部まちづくり協議会」



神戸や石巻の復興を追い続けてきた青池監督

の人たちが、25年の年輪を重ねた姿で次々と登場します。住民さん、行政、専門家が「どういうまちをつくるか」を巡って喧々諤々の議論を重ねる場面に何度も出くわしています。その場にいつもいた建築家の森崎さんは「25年前から、『住民参加』ではなく、『住民主体』のまちづくり活動が始まった。自分の住む場所はどこか、ということが住民の関心となり、ワークショップでやったことがそのまま形になったんです」と語ります。被災当時7才だった男性は、小

学5年生でワークショップに参加し、「人と人のつながりのあるふれあいセンター」を提案し、採用されました。今では語り部のグループに参加し、「震災を知らない今の小中学生に自分の経験を伝えていきたい」と意気込んでいます。ワークショップで決めたことが形になっている、というのも野田北部地区のすごいところ。住民がさまざまなデザインをして、すてきな名前のついた28本の路地が人とまちをつないでいます。

何度も世田谷に足を運んでいる河合節二さん、当時はまちづくり協議会の「若手」として、住民の合意形成をはかりながら路地のコミュニティづくりに深くかかわってきました。「今は日常が課題です。協議会のしごとは、まちのメンテナンスという危機管理みたいなもの」と言います。

震災直後から相変わらず、首には白いタオル、足元は長靴といういでたちの神田神父は「まちづく

りはダチづくり」と話します。「救援活動はどこかの時点で、広い意味のまちづくりになる。日本人だけじゃなくて、外国籍の人も含め、住んでいる人たちの生活感をもって活動することが大切」と、25年のプロセスを経ての実感を語ります。

早稲田大学の教授で、野田北部のまちづくりに最初から深く関わってきた佐藤滋^{さとうしげな}さんが1月17日の神戸で青池さんと語るシーンがあります。「外に向かつて開いたのが野田北部のまちづくり。まちづくりってそんなに難しいことではなく、普通の人が普通に考えてやりたいことを実現していく。日常生活の延長上に復興のまちづくりがあったんです」

まちのことを主体的に考える

映画の後には青池監督と佐藤さんの対談があり、お二人のやりとりは前述の場面の続きのようだし



青池監督と佐藤さんの対談
(2月8日「第33回神戸をわすれない」にて)

た。佐藤さんは25年前を振り返り、「青池さんに誘われて野田北部に入り、ああいう人たちに出会い、活動を見て目覚めた。まちづくりには、すごい可能性があって、次の時代を切り開いていかなくてはという感じがした」と語ります。

もともとコミュニティに対する関心が高く、集団の映画を撮り続けてきた青池さんは「被害に遭った共同体がどういうふうに再生し

ていくのだろうかという興味」を持って野田北部に入りました。

「世田谷でも玉川まちづくりハウスの林泰義さんたちや、太子堂のまちづくりなど、先人たちが地域活動を始めてくれていたわけです。阪神大震災から25年を基軸にして、前の活動とこれからどうするのかというのを考える上で、学ぶところは大きい」と青池さん。

「住民自身が自分のまちのことを主体的に考えるようになるのには、阪神大震災が大きかった。あの頃、『100年に一度の大災害だが、わたしたち自身がまちづくりをする、100年に一度のチャンスでもある』という住民の言葉を聞いたんです。神戸の住民たちには、以後につくるべき日本社会を目指すダイナミクスがあった」と語ります。

そして「今の野田北部には、実質的に話し合い、合意を得るプロセスを経て災害の整備をやったあの日々がすごく生き、成熟し



都市計画が専門の佐藤滋さん

たまちになっている。非被災地に住むわれわれが学ぶのはそこであって、災害が収まったあとで『じゃあ、くないすんねん』ということこそ、今年は語ってほしい』と、今後のテーマが示されたようです。

震災後の「復興まちづくり」

佐藤さんは「野田北部の復興まちづくりは完結した感じがした」と話し、「もう撮るものはないという安堵感」と青池さんは冗談めかして言います。だからこそ学ぶことがたくさんあるのも事実。「戦

災復興で区画整理がされていた神戸と東京は全然ちがう」という佐藤さんは「神戸に学ぶだけでなく、事前の取り組みから始めよう」と地域での事前復興まちづくりのワークショップを東京で提唱してきています。

首都圏直下型地震を想定するテレビの番組では、大災害からどうやって身を守るのかにフォーカスします。「でもその後のまちづく



青池さんが代表を務める「野田北部を記録する会」は、過去の作品をDVD化して、後世につなげようとしています。

りをどうするのか」という視点が語られなくては、と青池さんは思っています。

それを受けて佐藤さんは『まちづくり』ということばは世界にはない、訳せないことばなんです。『Machi-zukuri』というしかない。それは神戸の震災をはさんだ50年間に取組まれた文化的活動で、すごいからです。まちづくり活動の中で培ってきたものを表に出して、きちんと形にした方がいい」と話します。

「今、災害が起こると、復興公営住宅とかふれあいセンターが必要だというのが当たり前になっているけれど、その元は阪神大震災の時の復興住民と行政、専門家がトリオで生み出したことです。25年経って今では当たり前のことを当たり前にしてくれた阪神大震災の住民は大したもんだと言えますね」と青池さんは対談を締めくくりました。

明日へつないでいく

「神戸をわすれない」では毎年、長田神社前商店街の和菓子のお店「きねや」さんのお饅頭を取り寄せ、神戸の今に思いを馳せてきました。震災後も必死に商売を続けてきたものの25年経って経済的に立ち行かなくなっている小さなお店がいくつもあります。きねやさんもお店が潰れてしまいました。地域のお年寄りがお茶を飲みながらお菓子をつまみ、おしゃべりをしていく。そんなまちの風景が消えゆくのは悲しいことです。青池さんは「次世代に何をつなぐかが大切な視点です。生き残った人たちが地域で集団として共同体をどう構築しながら生きてきたのか、記録としてつないでいくことが大事だと思っています」と述べています。私たちはこれから25年を明日につなげていきます。（寄稿／神戸をわすれない・せたがや 星野弥生）

暮らしに根ざした学びを紡ぐ

バージの会



左から松園さん、稲垣さん、和久井さん、松尾さん

「バージ (barge)」とは、大きな船から栈橋まで人や荷物を運ぶ船「はしけ」のこと。千歳船橋周辺に暮らすメンバーが、地域のつながりを橋渡しする「はしけ」のような会をつくろうと想いを込め、「船」「橋」の地名にも関連して名づけました。代表の稲垣恵子さんとメンバーの3人にお話をうかがいました。

創設メンバー5人の共通点は子育ての過程で船橋児童館とつながっていたこと。子どもの学年はバラバラですが、子育てサークルや講座に参加していました。その後もPTAや船橋のミニコミ紙づくりなど、さまざまな地域活動で

まちの 市民力!!

取材・事務局

●
街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

縁があり、お互いを知るようになりました。そして地域にかかわるなかで生じた関心事について深く学べる場をつくろうと動き始めたのです。

東日本大震災の後、社会全体に漠然とした不安感が漂っていた2013年に、評論家の芹沢俊介さんを招いて、いのちや子育てに関する講演会をひらいたのが始まりでした。自分たちがいま学びたいことは何なのか、地域の人たちが必要としている学びは何なのか、講師とも対話を重ね、講演会を企画します。本を読んだり学習会に向いて情報を集め、その過程も学びになっています。

これまでの講演会は「船橋で地域活動を実践してきた駒井澄子さんに学ぶ」「子縁でつなぐ地域―野本三吉さん」「地元の高橋久一さんに聞く戦争を含む90年の地域

史」「手仕事を通して豊かに生きる―天野寛子さん」他。昨年は夫の定年を控えた関心事からテーマを絞るなど、教育、地域、生き方について地域の方と学び合っていました。さらに児童館と共催で「子育てサポーター講座」を企画したり、イベントの協力など今も児童館にかかわっています。

この7年間の会の足跡を振り返り、「知らなかったことを知ることができ、思い込みに気づいたり自分自身が変わった」「最初は自分が学びたいという想いから始まったけど、いまは近所に暮らす方たちと一緒にやっていくことを大切にしています」と話します。

今年度はどんなテーマにしようかと、新たな1年の話し合いが始まりました。普段それぞれが違う活動をしているからこそ、幅広い視点を持ち寄ることができそうです。生活者の目線で地域に根を張る学びの場、「いま、ここ」にしかない講演会をつくっています。

■「バージの会」 毎年秋頃、講演会を企画しています。
2020年の講演会が決まったら本誌でもお伝えしたいと思います。



子どもの育ちを地域で応援する

橋本 陽子さん
はしもと ようこ

や せた人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

期試験がない
学校」として、
マスコミでも
注目されまし
た。橋本さん
も在校生の保
護者としてい
ろいろな子ど

2018年12月に本誌「セボネ」で紹介した喜多見にある地域共生の家「ふくふくのいえ」を運営する一般社団法人「よこいと」の代表が橋本さんです。おでかけひろばを中心とした活動は「子どもの育ちを地域で応援する」と決めている橋本さんらしい活動のひとつです。

地域でのもうひとつの活動の現場は学校。長男が桜丘中学校1年の時、PTA主催の「さくフェス」の委員長になり、今春の卒業まで3年間関わりました。学校に通う中で、西郷孝彦校長の考え方に深く接するようになりました。桜丘中は「校則、制服、チャイム、定

もたちが成長する姿を見てきました。「西郷先生のやり方を理解する人もしない人もいるけれど、直接話を聴く機会があるといいな」と思い、昨年3月に西郷先生と区長との対談イベントを企画。またたく間に定員の200人をオーバーしました。

この反響を見て、「桜丘中の取り組みは、多くの方が望んでいることかもしれない。いろいろな視点から見つめて、どこの学校にも広まればいい」と思った橋本さん。昨年11月にはイベント「桜丘中学校 ミライへのバトン」の開催にこぎつけ、定員1000人の会場はあつという間に満員御礼になり

ました。登壇者の尾木ママこと尾木直樹さん、麻布学園理事長の吉原毅さん、西郷先生はそれぞれに「ミライの教育への希望」を語りました。「子どもを取り巻く環境をどうするか、という気持ちがつながっていたので会を実現できました」と橋本さんはいいます。参加者の8割が長文のアンケートを寄せてくれ、ほとんどが区内の保護者だったそうです。

そして、このイベントの内容が本になりました。「『過干渉』をやめたら子どもは伸びる」(小学館新書)。実は橋本さんは以前ライター、編集、プランナーが仕事だったので「昔とった杵柄」、もちろん編集に加わりました。

「自分では仕事を辞めたつもりはないんです。仕事とボランティアは同じスタンス」という橋本さん。週に4日は「ふくふく」に、1日は羽根木プレーパークに通い、その間を縫って、せっせと「よこいと」を紡いでいます。

代田ビューロー ご近所カフェ
4/18、5/16 (土) 13時～16時
代田ボランティアビューロー P14

* 沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10 ～ 15 をご覧ください。

せたがやチャイルドライン特別講演会 2020
「子どもの命を守るには～虐待事件を取材して～」
4/25 (土) 13時半～16時 15分
会場：北沢タウンホール
せたがやチャイルドライン P13

うな登校 Part245
(土) 14時～
スクール僕んち P15

●小田急線沿線

- | | |
|----------------------------|--------|
| ☆梅丘ボランティアビューロー バザーボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆ボランティア拠点の非常勤職員募集 (有償) | 詳細 P12 |
| ☆脳性麻痺の66歳の女性の介助者募集 (有償) | 詳細 P12 |
| ☆スポーツクラブ講師の募集 (有償) | 詳細 P12 |
| ☆ひとり親家庭のサポート、有償スタッフ募集 | 詳細 P12 |

一緒に楽しみましょう
曜日 9時～12時
立保健医療福祉総合プラザ
かけ合いクラブ P14

JRA 馬事公苑

ヒューマンライブラリー入門講座

4/18 (土) 17時半～20時半
会場：世田谷ボランティアセンター
東京ヒューマンライブラリー協会 P14

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

春の代田ビューローバザー

5/29(金) 10時半～14時

30(土) 10時半～13時半

【提供品受付】5/9(土)～16(土)
代田ボランティアビューロー P13

●京王線沿線

☆朝、小学校の通学付き添いをして下さる方募集

詳細 P10

☆レクリエーションスタッフ募集

詳細 P11

●世田谷線沿線

☆介助者緊急募集(有償)

詳細 P13

子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

4/18(土) 13時半～17時

場所: 喜多見地区会館2階

NPO 法人子どもソーシャルワーク協会 P14

もっと語る

4/11

NPO フリー

パソコンを

毎週火

場所: 世田谷区
パソコン財

●東急線沿線

☆小学5年生男子と遊んでくれるお兄さん募集

詳細 P10

☆お弁当の調理・配達ボランティア募集

詳細 P11

☆ストレッチの補助をして下さるボランティア募集

詳細 P11

☆主に知的障がいのある方の介助者募集(有償)

詳細 P11

京王線沿線

小田急線沿線

世田谷線沿線

東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。
(※上記記事は3月18日時点の情報です。詳細は問合せ先へご確認ください)

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ご相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ボランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木
TEL 5712・5101
takai@otagaisana.or.jp

ボランティア求む

京 朝、小学校の登校付添いをして下さる方募集

4月から、烏山地域の特別支援学級に通学する小学校高学年の男の子を、朝、自宅から学校まで送り届けてくださる方を探しています。動物のお話が好きて、「元気な男の子です。寄り道をしてみてください。その時は学校に向かうようサポートをお願いします。」
●日時／平日週1回から応相談。
朝7時半に自宅へお迎え、学校まで徒歩約20〜30分程度

●場所／自宅から小学校まで
●交通／千歳烏山駅徒歩20分（自宅）
●条件／千歳烏山駅近辺にお住まいの方が望ましい。謝礼・交通費はありません
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居
TEL 5712・5101
takai@otagaisana.or.jp

東 小学5年生男子と遊んでくれるお兄さん募集！

玉川地域の支援級に通う小学5年生の男の子が、土日に一緒に遊んでくれるお兄さんを募集しています。少し多動傾向のある、ゲーム好きな明るい男の子です。一緒にプールへ行ったり、公園で遊んだり、たまにはゲームもできたら嬉しいです。

●日時／都合の良い土曜か日曜、月に1回程度

●場所／自宅近くの公園、総合運動場プールなど
●条件／大学生〜30歳くらいの男性、交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアセンター
TEL 3707・3528
tanabara@otagaisana.or.jp

小 梅丘ボランティアビュロー バザーボランティア募集

梅丘ボランティアビュローでは、館内にてミニバザーを行なっております。時々、陳列をリフレッシュしたり、倉庫に収納しているバザー品を出し入れしたり、手入れをしたり、といった作業を、ボランティアさんをお願いしています。月に1〜2回、2時間ほどの作業を、継続的にやってくださる方、いらっしゃいませんか？
まずは、館内の常設バザー「うめのや」をのぞきにいらしてください！

●日時／第1金曜日・第2土曜日（時間は応相談）
●場所／梅丘ボランティアビュロー
●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分
●問合せ／梅丘ボランティアビュロー
TEL 3420・2520
umebaa@otagaisana.or.jp

東小 ストレッチの補助をしてくださるボランティア募集

岡本福祉作業ホームでは、障害のある利用者の方々が、月に一度ストレッチの先生をお招きして体を動かす活動をしています。そこで、ストレッチをお手伝いしてくださるボランティアさんを募集しています。

- 活動内容／利用者の方とコミュニケーションをとりながら、ストレッチの先生の指示のもと、一緒に体を動かしていただきます。

東 お弁当の調理・配達ボランティア大募集！

食事作りが負担になった高齢の世帯に、地域のボランティアによる手作りのお弁当をお届けしています。ほしとする家庭の味と、配達時のちょっとした会話で利用者の見守りも兼ねたこの活動は30年以上続いています。老若男女どなたでも参加できます。週1回からでも大丈夫。ぜひ一度見学にいらしてみませんか？

- 日時／月曜～金曜、週1回でも可。①【調理】8時～13時半
- ②【配達】10時半～13時半

- 日時／毎月第2水曜日13時15分～13時45分（集合時間13時頃）

●場所／世田谷区立岡本福祉作業ホーム

●交通／二子玉川駅、または成城学園前駅よりバス、岡本三丁目下車徒歩5分

- 問合せ／世田谷区立岡本福祉作業ホーム 担当 須永
- TEL 3415・3366
- okamoto@zumikai.jp
- https://www.zumikai.jp/

- 場所／食事サービスサポートセンターだんらん（世田谷区鎌田3・13・1）

●交通／バス「砧南中学校前」下車1分

- 条件／①【調理】初心者でも大丈夫です。②【配達】自動車普通免許、人と接するのがお好きな方

- 問合せ／老人給食協力会ふきのとう 担当 佐野
- TEL 3706・2545
- sano@mow.jp
- http://fukinotoh.mow.jp/

京 レクリエーションスタッフ募集

ご自身の趣味特技 歌唱、書道、茶道、ネイル、工作、体操などを生かした演目をコーシャハイムご入居の方へ、レクリエーション提供して頂ける方を探しております。ぜひ皆様の力を貸していただけないでしょうか？

- 日時／月～土曜、祝日含む、10時～11時、14時～15時

- 場所／コーシャハイム9号棟2階
- 交通／千歳烏山駅徒歩4分
- 条件／月1回からOK、交通費や材料費は応相談
- 問合せ／榎やさしい手千歳烏山担当 田口、本村
- TEL 5315・3820
- ynka@karasyama@yasashite.com
- http://www.yasashite.com

有償スタッフ募集

東 主に知的障がいのある方の介助者募集

NPOガチャパンとともに生きる会は、「障害の有無にかかわらず誰もがともに地域で生きる」を理念に活動しています。主に知的障害のある方が地域での「自立生活」を送るため、ヘルパーを派遣して支援しています。このたび、下馬地域のアパートで生活する女性のヘルパーを募集しております。仕事内容は、洗濯、簡単な調理、部屋の整理などです。

- 日時／①夕方17時～19時（土日は20時まで）②土日、祭日のランチ同行
- 場所／下馬地域のアパート
- 条件／時給1500円
- 問合せ／ガチャパンともに生きる会 担当 酒井
- 070・5563・1475

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。5月号掲載は4月10日（金）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

有償スタッフ募集

ボランティア拠点の非常勤職員募集（若干名）

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。

詳細はホームページをご覧ください。

●内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか

●勤務地／世田谷区内のボランティアセンター

●交通／小田急線沿線

●勤務日／月曜～土曜日のうち、週3～4日程度（ただし、月2回程度土曜日の交代勤務あり）

●勤務時間／9時55分～17時10分

脳性麻痺の女性の介助をしてくださる方募集

脳性麻痺の66歳女性の、日常の家事援助と身体介護、また一緒に外出したり食事をしてくださる方を募集しています。

●条件／ヘルパー2級・初任者研修資格者希望で女性の方に限ります（ヘルパー資格のない方は重度訪問介護従業者研修資格があれば大丈夫、それ以外の方は応相談）。

●土曜日の日勤、夜勤を募集しています（他の曜日も応相談）。詳細は電話でお問い合わせ下さい。

●雇用期間／4月以降～2021年3月末日勤務開始日応相談。

●待遇／時給1070円（交通実費支給、雇用保険あり）

●応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（400字程度）を提出。

●選考方法／書類及び面接

●応募締切／適任者が見つかり次第締切。応募の前にお電話でお問合せください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会

TEL 5712・5101

<https://www.otgaisama.or.jp/>

●日時／土曜日の日勤（8時～17時）、夜勤（18時～翌朝8時）

●場所／ご自宅

●交通／千歳船橋駅徒歩5分

●条件／女性限定。時給は、日中8時～18時1800円

夜間18時～22時2000円

深夜22時～翌朝6時2200円

早朝6時～8時2000円

交通費500円／回

●問合せ／相馬、岡村（ヘルパー）

090・1843・6481

スポーツクラブ講師を募集しています

祖師谷にある「わくわく祖師谷」は、主に知的障害のある人が通う通所施設です。作業の他、利用者の余暇支援の一環として利用者さんが選択をして行うクラブ活動を行っています。

●活動内容は様々で、所内で行える体操やレクリエーションから、施設周辺のウォーキングなどを行っています。

●内容は講師の方と相談して決めることもできます。お近くの方で興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡下さい。

●日時／第2、第4水曜日の10時40分～11時40分

●場所／わくわく祖師谷

●交通／祖師谷大蔵駅徒歩5分

●条件／1回2000円、4月～2021年3月の1年間

●問合せ／社会福祉法人せたがやの会

担当 島澤

TEL 3789・8727

wakwaku-soshigaya@mirro.ocn.ne.jp

<https://www.kashinokai.net/>

小京東 ひとり親家庭のサポートをしてくださる方募集！

世田谷区内のひとり親家庭にお伺いし、子ども（保育園・小学生）の遊び相手、宿題等の見守り、夕食づくりなどをしてくださる方を探しています。

●条件／親御さんが多忙や不調で余裕がなかったり、お子さん自身がサポートを必要としているご家庭で、お子さん・親御さんともに安心して楽しく過ごせるよう、力を貸していただけたら幸いです。

●学生さんからシニアの方まで大歓迎です！

●日時や内容はご家庭によって異なるため、詳しくはお気軽にお問

い合わせください。

●日時／月～金曜日、17時～21時（2～3時間程度。ご家庭ごと異なります。週1日程度）

●場所／世田谷区内のご家庭

●交通／小田急線・京王線・田園都市線・東横線など

●条件／有償、交通費支給、研修あり

●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会担当水野

TEL 5727・2133

kojomo-sw@csjw.jp

<http://www.jcsjw.jp/>

世

介助者緊急募集

私は重度の障害があり、24時間介助を必要としています。手足が全く不自由なので、パソコンなどの打ち込み作業なども含めて、生活動作全ての介助です。なお、車椅子等への移動は電動リフトがあるので女性でも構いません。膀胱カテーテルがあり、トイレ介助はないのでなたでも構いません。

講座・その他・募集

小 『せたがやチャイルドライン』特別講演会2020『子どもの命を守るには、虐待事件を取材して』

児童虐待や少年事件など、子どもの命にかかわるような痛ましい事件が後を絶ちません。今、社会に、子どもたちに、何が起きているのでしょうか。多くの事件を取材してこられた杉山春さんからお話を伺い、わたしたちは何ができるのか、参加者の皆さまと一緒に考えていく機会にしたいと思えます。

- 講師／杉山春（ルポライター）
- 日時／4月25日（土）13時半～16時15分（開場13時15分）
- 場所／北沢タウンホール3F ミーティングルーム

- 日時／日曜日の昼間、朝9時～19時まで
- 場所／世田谷区世田谷2・8・2パルテノン上町310（自宅）
- 交通／上町駅徒歩3分
- 条件／資格 重度訪問介護以上 時給1430円＋交通費
- 問合せ／上田要（本人）
080・5496・2228
notyan@me.com

- 定員／72名
- 対象／子どもの問題に関心のある方、子育て中の方、学生
- 参加費／参加費999円（資料代として）※中高生は無料
- 交通／下北沢駅徒歩5分
- 申込／電話、またはメールで。メールの場合は件名に「特別講演会申込」、本文に氏名、電話番号（あれば所属）を記入してご送信ください。
- 問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 担当 樽井・青木
TEL 5712・5101
childline@otagaisama.or.jp

小 代田ビューロー春バザーのご案内&バザーボランティア募集

今年も恒例の春の代田ビューローバザーを行います。掘り出し物も、素敵な出会いもたくさん！地域の皆さまからご提供いただいた品物を販売し、地域のボランティア活動推進のための費用とさせていただきます。お待ちしております。

お買い物で、地域のボランティア活動を支えるお手伝いをよろしくお願いいたします。皆さまのご来場をお待ちしています。事前の値付け作業から当日まで、たくさんボランティアの力で成り立っています。ぜひご参加ください！

- バザー日時／5月29日（金）10時半～14時、5月30日（土）10時半～13時半
- 場所／代田ボランティアビューロー（世田谷代田駅南口）
- 駐輪場・駐車場は有りません
- 提供品受付期間／5月9日（土）～16日（土）10時～16時（日曜・祝日休館）

*受付できるもの／春夏物衣料（新品または洗濯済みで新品に近いもの）、贈答品、着物、バッグ、アクセサリ、食器、おもちゃなど

*受付できないもの／紳士服、電化製品、家具、布団、書籍、ぬいぐるみ、人形、景品、食品

*判断に迷ったらお問い合わせください。秋冬物衣料は次回10月に受け付けます。

- ボランティア募集
- ①提供された品物に値段をつける作業・商品陳列作業 5月19日（火）～28日（木）10時半～12時13時～15時（日曜を除く）都合のつく日時でご協力ください。
- ②バザー当日 5月29日（金）、30日（土）9時半～15時の間で応相談。ボランティアによるおしいまかない付き
- 募集人数／①値付け・準備各日10名 ②バザー当日各日20名
- 問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
databara@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。5月号掲載は4月10日（金）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待・不登校・いじめ・非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。

●日時／4月18日（土）13時半～17時（開場13時15分）

- 場所／喜多見地区会館2階（世田谷区喜多見8・23・23）
- 交通／喜多見駅徒歩3分
- 参加費／一般1000円
学生500円
- 申込み／お電話かHPから
- 問合せ／NPO法人日本子どもンシャルワーク協会 担当 水野
TEL 5727・2133
<http://www.jswpj/index.html>
kodomo-sw@jswpj

東 ヒューマンライブラリー入門講座

ヒューマンライブラリー（HL）は、障がい者、LGBT、難病、依存症、外国人など偏見や誤解を受けやすい人が「本」になり、少数の一般読者の方に人生話を自己開示する対話イベントです。相互理解を深め、偏見を低減するイベントとして、国内各地や世界中で実践されています。この講座は、HLについて詳しく知りたい方、開催してみたい方などを対象にした入門講座です。

●日時／4月18日（土）17時半～20時半

- 場所／世田谷ボランティアセンター
- 交通／三軒茶屋駅徒歩12分
- 参加費／500円（資料代）
- 募集人数／15名
- 申込み／氏名、お仕事、住所、連絡先を明記してメールでお申し込みください。
- 問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井
090・4751・6942
tsubo912@gmail.com
<http://tokyo-humanlibrary.com>

小 代田ビューロー ご近所カフェ

毎月第3土曜日の午後オープンしている「ご近所カフェ」。月替わりのお楽しみ企画とお茶とお菓子を用意してお待ちしています。ご近所に顔見知りが増えるきっかけに、土曜の午後を一緒にすごしませんか。ふらつとお立ち寄りください。

●日時・内容／①4月18日（土）13時～16時（時間内出入り自由）『春ですー体を動かしませんか？』

- ②5月16日（土）13時～16時 時間内出入り自由 『ビューローバザーの飾りを作ります！』
- 場所／代田ボランティアビューロー1階
- 交通／世田谷代田駅すぐ
- 参加費／100円（茶菓子代）
- 申込み・問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
daiboro@otagaisana.or.jp

小 パソコンを一緒に楽しみましょう

パソコンを楽しむみたい方が多い、知識や経験を分かち合いながら、パソコンを楽しむんです。参加の要件は、パソコンを楽しむという思いだけです。年齢性別、障がいの有無は問いません。パソコンを楽しまたい方、また、こうした方々に、パソコンを募つて頂いて、パソコンを募つて頂いて、車両による送迎の相談にも応じられます。

- 日時／毎週火曜午前9時～12時
- 場所／世田谷区立保健医療福祉総合プラザ
- 交通／梅ヶ丘駅、豪徳寺駅徒歩5分～10分
- 問合せ／パソコン助け合いクラブ 担当 荻原
090・8349・5774
ogiz753@gmail.com

小 もっと語ろう不登校 Part245

これまで25年にわたって、様々な方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで、心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／4月11日（土） 14時～
●場所／NPOフリースクール 僕

大学生、社会人必見！インドスタディーツアー

「オン・ザ・ロード」のスタディーツアーは、「ボランティア×観光×学び」がセットになったインドツアーです。インドの観光や民族衣装を着る体験だけでなく、ボランティアとして支援先の現地の子どもたちとの交流があり、インドの現状・文化を肌で感じられます。観光では、ガンジス川、タージマハル、デリー市内などなど、5日間でインドの人気観光スポットも周れます。ボランティア活動では、未だ根強く残るカースト制度による、貧困層の多い村で、マザーベビースクールの子どもたちとの交流を通して、インドの

んち

●参加費／300円（カンパ歓迎）
●交通／梅ヶ丘駅、東松原駅徒歩10分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっとと語ろう不登校」担当 高橋
TEL 3327・7142

現状を知って頂き、「自分には…」「日本では…」何が出来たかを考えてもらえるきっかけにもなる旅です。

個人旅行ではわからない、根強く残るカーストを深く学べる旅であり、普通の旅行とは一味違うツアーで世界観が変わる旅になること間違いなしです。参加費等、詳細はホームページをご覧ください。

●日時／5月3日～5月7日

●場所／インド（バラナシ、デリー）
●問合せ／NPO法人オン・ザ・ロード

info@otr.jp
https://otr.or.jp/

小冊子「世田谷区での水害と災害ボランティア活動」を作成しました！

■昨年の「令和元年東日本台風」による玉川地域等の水害に対して、多くのボランティアの皆さんに活動頂きました。せたがや災害ボランティアセンターでは、このたびの活動を踏まえて、ボランティアコーディネーターの方々が中心となって水害時のボランティア活動について検討を重ね、水害時のボランティア活動に関する冊子「世田谷区での水害と災害ボランティア活動」を作成いたしました。必要な方は、世田谷ボランティアセンターにお越しください。（無料）

世田谷区での水害と災害ボランティア活動



- 1 世田谷区での水害発生危険性
- 2 水害を予測した適切な行動
- 3 水害の実態
- 4 水害からの復旧と災害ボランティア活動
- 5 セタがや災害ボランティアセンターの活動

社会福祉法人世田谷ボランティア協会
せたがや災害ボランティアセンター

A4 サイズ、28 ページ

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

誰かの手助けを必要とするときに相談にのったり、地域で何か活動したいと思ったときに情報をお伝えしたり、いっしょに考え、ひとりひとりに寄り添うことを大切にしています。

◆ふらっと& withより

新型コロナウイルスの話題でいっぱいの年度末。その影響で3月も外出先には困ったひと月となりました。4月には騒動も少し落ち着き、穏やかな花見を楽しみたいと願っています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

新型コロナウイルスが子どもたちの生活に大きく影響を与えました。そうでなくても春は、子どもたちの気持ち揺れやすい時期です。チャイルドラインはいつも通り、子どもたちの声に耳を傾けています。

編集後記

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、3月はやむをえず事業中止に。そんななか布マスクづくりに立ち上がったボランティアが熱心に活動しています。自分たちができることを行動につなげているのが素敵と思いました。
- 季節の変わり目と年度の節目。今年はいつも以上に特別な春。日常のありがたさに気づき、今までの生活を見直す春になりそうです。(み)
- いよいよ5Gの時代に。これから私たちの生活がどう変化していくか楽しみです。(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

